えくてびあん

立川と語ろう　立川に生きよう
October 2018
Écoutez Bien Vol.36 No.407

10

女性管理職の登場です

表紙の人／田中教育グループ三代（曙町・高松町）

中村亭 [2]

案内人
沼本忠次氏（日本鉄道構内営業中央会　事務局長）

地域色豊かなデザイン。多摩の名勝や立川村十二景が描かれている。

[中村亭　沿革]

初代…中村平三郎、東京四ツ谷生まれ。明治初年立川に移住。
二代目…中村徳次郎。平三郎の長男、料亭旅館　中村亭を創業。
三代目…中村久之助。徳次郎の甥。明治34年2月駅構内営業を創設して営業人となる。
四代目…中村富雄。久之助の次男。昭和23年3月営業を継承。昭和26年10月18日株式会社中村亭を設立し、代表取締役となる。

不慮の事故により命を落とした三代目久之助の跡を富雄が継いだ。富雄は先代久之助が料理旅館を営業していたため、青年時代よりこの仕事に従事。昭和15年5月には立川駅南口の駅脇に営業所を新設し、構内営業を専業とした。その後構内営業の数々の要職を務め、旅客マナー向上運動、旅客サービス向上、旅行を楽しくする運動などに鉄道とともに参加し、鉄道当局より感謝状を授与された。特に鉄道80周年には国鉄総裁より表彰を受けた。昭和27年4月には、中央線相模湖駅など観光地の駅にも旅客サービスのために出店、さらに東鉄支部には殉職者への弔慰金、鉄道退職者の受け入れなど、まさに鉄道とともに歩んだ人生だった。

特産品を使った弁当各種。他に「狭山弁当」もあった。

中村亭創業55周年、それは昭和35年11月19日。国鉄幹部をはじめ業界の幹部、国会議員、市長、市議会議員、立川駅長など200名以上の来賓を迎え盛大に挙行された。地元においては、東京都議会議員、立川青年団長、立川体育協会会長、立川警防副団長、PTA連合会長など、公職に転任して社会のために貢献した。

掛け紙に地域観光地の情報が記されている。掛け紙が有効な媒体だったことがわかる。

[昭和34年当時の販売品目]

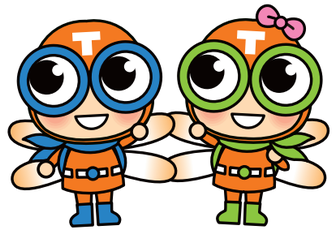
立川駅ホーム…立売、弁当、鮨、いなり寿司、焼飯、サンドウィッチ、牛乳、ゆで卵、パン、湯茶、乳性飲料
中央ホーム…飲料、料理品、おでん、そば・うどん等
南武ホーム…新聞、雑誌、煙草、菓子、果物、乳性飲料、玩具等
貸電話（中央線ホーム）

私が立川駅に勤務していた平成3年ごろ、中央線行3、4番線の東京方面の階段を上っていくとすぐ左側に中村亭の弁当、お茶、牛乳、パンが売られる店舗があり、朝はパンと牛乳などがよく売れていたことを記憶している。私もよく食べた。ホームには駅そばがあった。

［インタビュー］

きらり！この顔

Tachikawa Inside Outside
あの人、この人、立川人 58



変わる立飛、開くTACHIHI

いよいよ、女性管理職登場です

立川市ワーク・ライフ・バランス推進事業所に認定された立飛グループ。
仕事と家庭を両立し、男女共に働きやすい職場環境であることが認められた。
経営理念にある「従業員の幸せを通じて社会貢献する」が実践されている。

――女性の積極登用ということでは歴史ある三越伊勢丹さん。伊勢丹立川店の亀田真理店長から「立飛さんに女性管理職が誕生した」とうかがい、早速お邪魔しました。

西内　ありがとうございます。亀田店長は本当にすばらしい管理職でいらっしゃいますから。

――女性管理職の登場ということで、立飛さんの硬派なイメージが変わりましたよ。

西内　私も、うかがったときはびっくりしてしまって。最初はお断りしようかなと思ってしまったくらい。そこまで責任がもてるのかなと不安がありました。でも、やってみなければ前に進みませんし、後に続く方もこういう立場になっていかれるかもしれないですし、自ら率先して行うことが後輩につないでいくことだと思いました。

――昭和24年以来、立飛さんは立飛企業株式会社と新立川航空機株式会社のふたつに分かれていました。おふたりはどちらの会社に入社されたのですか？

西内　立飛企業です。大学在学中にゼミの教授のところへ、立飛ゴルフ練習場ができるのでそこでアルバイトをしないかというお話が来て、それがきっかけです。もともとは体育の先生になるために教員免許をとっていたのですが、教育実習に行ってみたら私には向いていないなとわかって、アルバイトから入社することになりました。

――池田さんは中途採用ですよね？

池田　そうです。前職は金融機関で主に窓口業務をしたりしていました。その会社が別の銀行に吸収合併されることになり、上司のひとりが立飛企業を紹介してくれて、面接していただき採用となりました。

――入社以来ずっと総務なのですか。

池田　はい、入社以来18年、ずっと総務一筋できました。立飛企業の時も、平成24年に合併して再編しても総務でしたね。

――西内さんはいろいろ異動があったそうですが。

西内　ゴルフ場では受付業務、総務の時には池田と一緒でした。

池田　西内と一緒にいて、いろいろ学ばせていただきました。本社3階の受付にお花が活けてあるのをご存知ですか？　あれは西内が活けています。西内は師範の免許を持っているんです。私も師範とまではいきませんが、見習っていくようにしています。

――西内さん、他にもいろいろおできになるそうですね。

西内　そんなこともないのですが、総務の時には保険の資格をとるのも大事だと思いましたし、仕事の内容が幅広いので、マナー的な資格も必要かなと思いまして、華道も茶道も着付けも、書道も。書道はもともと習っていましたし、華道、茶道は大学のころからの延長ですけれど。でも、そういった、皆さんと違う努力を続けてきましたね。

――あ～！　流鏑馬の時、市長や消防署長の着付けをされていたの、西内さんですか！　あれは小笠原流の方かと思っていました。すばらしく役立っているじゃないですか！

西内　それほどでもないのですが（笑）。でもおもてなしの心は大切です。オリンピックにつながりますし。とにかく「お役に立てれば」という気持ちでやるようにしています。池田にもヘルプしてもらいながらですが。

池田佐江子さん

短大を卒業後、金融機関に6年勤務。その後、ご縁があって立飛企業で働くことに。入社から18年、総務一筋だったが、ここで管理職として営業へ異動。現在は、株式会社立飛リアルエステート　不動産部営業二課　課長。

池田　常日頃こうして身近に見本となる先輩がいるので、見習っていくようにしています。総務にずっといましたので、それ以外には秘書検定などちょっとした勉強はしてきています。

――でも今回は、総務課での課長ではないんですよね？

池田　そうなんです。そこがまたびっくりなんですけれどね。営業に移っても、総務的な部分でお役に立てることもあるかなと思いますし、いろいろな部を経験することで社内の横のつながりというところで貢献したいなと思っています。同じ会社であっても部署間の溝というものは多かれ少なかれどこの会社にもあると思うのですが、上の立場で異動できたことがそうしたことの解消に少しでもつながるのではないかと思います。ポテンシャルは高い会社なので、もっともっと潜在する力を発揮できるように努力して、少しでも貢献したいですね。

西内　大きな立川というキャンパスの中に当社の色を少し入れていただいて、そこから発信していくことで皆さんのお役に立てるように。もともとお住まいの地域の方はもちろんですが、今後外から「立川は住みやすいね」と移ってきてもらえるように、その一助になりたいですね。こういう会社も地域貢献しているし、子育てしやすい環境だよねと思っていただけたらと考えています。

池田　村山（社長）が社員に対して事あるごとに「地域貢献」と言っているので、地域貢献は社員の共通認識ですし、立川の中で所有する土地の大きさとか影響力を考えますと、社会的責任の重さも全社員が理解しています。外を歩く時も「立飛の社員である」自覚とプライドを持っていると思います。

――村山社長はいつも、今の立川に何が必要か、何があったら市民の皆さんが喜んでくれるかと考えていらっしゃいますよね。

池田　はい。これから入社してくる若い人たちの中にも、当社が地域貢献に力を入れていることが志望動機だと、そういうところまで浸透してきています。中には、親御さんが「地域貢献に力を入れているいい会社があるよ」と勧めてくれたという事例もありました。これから本業の営業はやりつつも、地域貢献にはますます力がはいっていくのではないかなと思います。

――池田さんは本業の第一線にいらっしゃるわけですものね。

池田　そうですね。忘れてならないのは、こうした地域貢献、社会貢献ができるのも、借りてくださるテナントさんがいらっしゃるからで、お客様あっての私たちだということです。管理職という立場で、いかにお客様に満足していただくか、満足していただけるようなサービスのご提供を考えながら、その先には社会貢献につながるんだという思いをもってやっていきたいですね。営業になってからそのように強く感じています。

――すばらしい！

池田　いえ、本当にお客様あってですから。

――テナントさんは何件あるのですか？

池田　直接契約させていただいているのが95社くらいです。転貸がありますので、中に入っている事業所数はもっとありますが。

西内　広大な土地もありますから、営業とともにゾーニングをしてどのような開発をしていくかが、これからの課題ですね。

池田　実際にそのような会議もありまして…

――そこに出席されていらっしゃるのですか？

西内　私は出ております。

池田　そういったところでも女性が発言できるようになってきました。

――常々、村山社長は女性の意見が大事だとおっしゃっていますね。

西内　はい、ありがたいです。

――新卒の会社説明会、以前は何時間待っても数人も来ないという状況だったのが一変したとか。

池田　ここ数年、認知度があがって。総務時代、私は採用にも携わっていました。ブースに1日いても2人しか来ないという状況も経験しています。近年たくさんの学生さんに来ていただいて、学生の中にも立飛という名前が浸透してきていることを肌で感じていました。

――いよいよみどり地区の開発ですが、そちらにはどのように関わっていかれるのですか？

西内　すでに立飛グループの女性従業員を津対象とした、みどり地区開発における商業区画リーシングへのプランニングに参画しております。

――最近、いろいろな場面で、立飛さんの新しい顔といいますか、新しい部署名のお名刺を頂戴することがあります。立飛ストラテジーラボのホテル事業推進室とか、一般社団法人 立飛総合研究所とか。

池田　そうですね。各分野のスペシャリストが集まってきています。

西内　それらが立ち上がってからが、また大変な業務になってくると思います。私たちは、優秀な新入社員がそこで自分たちのやるべきことを見失わないようにサポートしていかないといけないと思っています。せっかくいい芽とか蕾が入ってきてくださっても花開くまで私たちが育ててあげないと。そうしなければ会社の発展にもつながらないですから。

――スペシャリストは全国規模で集められたようにお見受けします。

西内　はい。その方たちにもまず立川の良さ、多摩を知ってもらいたいですね。

――ええ、多摩地域は多摩地域なんですよね。

西内　そうなんです。東京の中心とも違うし、いわゆる下町とも違う。地方ですと、本場ならではの景観があるからこそ、その土地の良さが感じられると思います。

池田　他にはない立川らしさが出せるといいですね。

西内　利便性や回遊性を考えて動く歩道や地下街があって、そこに多摩の文化や立川の郷土色が違和感なく溶け込んでいるような。

――暮らしやすい立川の未来が見えてくるようですね。

池田　女性同士で話しているとなお楽しいのかもしれないですね。

西内みゆきさん

東京女子体育大学在学中に立飛のゴルフ練習場でアルバイトをしたのがきっかけで立飛企業株式会社に入社。ゴルフ練習場では受付業務を、立飛企業入社後は本社総務に。その後経理に異動、現社長の村山氏と一緒に仕事をしていた経験がある。合併後は開発企画部に異動し、ららぽーと立川立飛のプロジェクトに携わっていた。現在は、グループ各社の運営事業管理を担当。積小為大の気持ちで人の役に立てればと日々努力している。現在は、株式会社立飛ホールディングス 関連事業企画部 関連事業企画課　課長。

インタビューコーナーに関するご感想やご意見は、月刊えくてびあん編集部で承っております。
メール、お電話、お便りなどはえくてびあんまでよろしくお願い申し上げます。

砂川の大幟（おおのぼり）

次はいつ、誰がどうやって建てるのか

普段は古民家園（幸町）の敷地奥にしまわれている大幟。
重機を何台も使っての片づけ作業に立ち会って、
初めてわかる歴史の重み、過去の偉業。

八月四日

「獅子の子落とし」をモチーフにした彫刻

八月六日

丸太を抑えているかすがいを掘り出す

地中から取り出された挟み板、2枚で600kg

八月七日

幟旗を揚げるお手伝いをしたのは、昭和記念公園こもれびの里のボランティアだった。こもれびの里では秋の高い空の下、砂川五番組の大幟が毎年建てられる。毎年建てるには建て易いように設えてあるのだが、それでも幟旗を揚げるのは一仕事。それに慣れている方々が今回もお手伝いしてくれたのだ。

立川市自治会連合会の萬田和正会長と、立川の歴史といえばこの人、豊泉喜一さんとが、この第三十回よいと祭りには十番組の大幟を建てると決めて、多方面に協力を要請し、いろいろな困難を乗り越えて最後まで頑張ったおかげでできた大仕事だった。

それにしても、今でこそ車も重機もあってできることだが、昔はどうやって人力で建てていたのだろうとは、携わった人みなが思ったことだった。豊泉さんは「これが最後の機会になるだろう」と言い続けていたが、三十年後、果たしてこの大幟は建立されるのだろうか。今回の建立の現場に若い人がいなかったことが、とても残念に思われる。

この運搬のためだけに用意されたトレーラーと台座

古民家園に到着した竿以外の文化財

消防車に先導されて出ていく

えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。
今月は 高松町・曙町・羽衣町 のお店です。

高松町・曙町

サロン・ケベクア美容室	527-4716
HAIR MAKES たしろ	525-2175
うなぎ しら澤	524-5061
中華料理 福心樓	524-2343
久住ハウジング（株）	527-8007
不動産 大晋商事	525-3110
ヤマハミュージックアベニュー立川	523-1431
蕎麦懐石 無庵	524-0512
TABACCONIST ゼフィルス	524-0514
ブティック ASHUTE VENI-VENI	521-1481
ビストロ シェ・タスケ	527-5959
あら井鮨総本店	522-2957
大衆劇場 立川けやき座	512-5057
立川伊勢屋 ルミネ店	524-3395
たましん すまいるプラザ立川	0120-667-646
オリオン書房 ルミネ立川店	527-2311
みずほ銀行 立川支店	524-3121
コスメドール 辰己屋	524-6051
エミリーフローゲ 本店	527-1138
キャフェ クリムト	526-3030
黒毛和牛専門店 焼肉 FUKI	523-0166
宮地楽器 MUSIC JOY 立川北	527-6888
TAKE THE HONEY スイーツ	523-8200
三井住友銀行 立川支店	522-2151
レストラン サヴィニ	525-1662
アートルーム 新紀元	528-6952
MOTHERS ORIENTAL	528-0855
たましん 本店	526-7700
和食どころ 若草茶屋	526-0010
三上鰹節店	522-3259
エフエムたちかわ	524-0844
ビックカメラ 立川店	548-1111
Charcoal Dining るもん	527-3022
酒亭 玉河	522-2654
三菱東京 UFJ 銀行 立川支店	524-4121
玉屋 KITCHEN	595-7847
立川グランドホテル	525-1405
カフェ アバン	527-4479
手打ちそば しぇ もと	529-5468
シンポパン	522-6211
天ぷら わかやま	525-0222
多摩水族館	524-0288
和菓子 井筒屋	522-4433
すし 魚正	522-3437
園部肉店	522-2901
Cut Studio SOFIA	528-3241
レストラン いなつき	528-1470
立川市女性総合センター アイム	528-6801
オリオン書房 ノルテ店	522-1231
CinemaCafe PIZZERIA BAR	595-9959
洋食屋 にゅうとん	522-3921

羽衣町

額縁専門店 プリムベール	528-6789
たましん 東立川支店	524-0611
ギリシャレストラン SHUPOUL	519-3923
林歯科医院	522-5657
中島豆腐店	522-5732
新鮮野菜・惣菜 立川商店	522-3565
本・事務用品 泰明堂	522-3353
本と文具 ないとう	522-3677
赤松タバコ店	524-7852

jorakugajo

真如苑提供番組〈常楽我浄〉

スカパー！：529ch

スカパー！で放送の常楽我浄は
スマートフォンアプリ「 ivy 」(無料) で視聴できます。

J:COM 多摩：111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

諏訪神社例大祭　曙町祭礼パレード30周年

8月24日、25日、26日、立川駅周辺はすっかりお祭り一色になりました。特に今年は、立川駅北口で行われる町会神輿のパレード「曙町祭礼パレード」が30回の節目の年。やることは毎年変わらないと言いながら、祭り衣装を新調したり、揃いのタオルを作ったり、力が入っていました。お祭りに参加できる自治会住民が少なくなって、パレードに参加しない町会もありますが、それでも立川で一番の賑わいを誇る曙町です。昨年諏訪神社にやってきた長野県は諏訪の木遣り保存会と三友会ラッパ隊も応援にかけつけて、盛大なパレードとなりました。

ダイス、悲願のホーム優勝！ ★

8月18日（土）、ららぽーと立川立飛で開催された3X3バスケットボールROUND7。年間カンファレンス優勝決定がかかる大事な1日。他の場所なら優勝するのになぜかホームで優勝できずにいたTACHIKAWA DICE、優勝しました！ しかも女子とのアベック優勝。途中、何度もあれ?っと心配になるシーンもありましたが、終わってみれば堂々の優勝、さらに年間カンファレンス優勝も決まりました。おめでとう〜〜〜！それにしても、女子の試合が面白くて、女子、すごくいいじゃん！と思ったえくてびあんでした。

新型救急車〈朝日AS〉 ★

大相撲巡業には東京消防庁からも救急車の応援がありました。その名も〈朝日AS〉新型救急車です。〈朝日AS〉は平成28年6月に発隊した東京消防庁救急機動部隊に所属する感染症対応の特殊救急車です。運転席との間に厚い扉があって密閉できたり、陰圧機能を有していて扉を開けても簡単には中の空気が外へ流れ出ない仕組みになっています。従来のストレッチャーが耐荷重180kgなのに対し、〈朝日AS〉積載のストレッチャーは230kgまで対応できることから、巡業のこの日、力士にもしものことがあったらという配慮から、立川消防署が要請したものでした。観客の皆さんは、東京に3台しかない特殊救急車、ご存知だったでしょうか。

★印のついている記事は、えくてびあんのブログ
「立川は Ecoutezbien えくてびあん」に詳しく掲載されています。

南口まちづくり協議会 ★

久々にお声がかかって取材に行ってきました、南口のまちづくり。第97回だとうかがってびっくりです。南口方面の在住者、在勤者、商業者、来街者などの垣根を越えて、まちづくりについて広く意見交換する場だそうです。一昨年はまちづくり宣言の策定、昨年はその具現化に向けて防災ベンチを設置する社会実験、今年度は具体的な成果を目指す活動へということで、活発に話し合いが行われていました。いろいろな立場からの意見を聞くことができたり、また行政からの道路整備工事の説明会などもあり、えくてびあんとしても有意義な時間でした。

トニーさん、外務大臣表彰

トニータナカ氏（左）、右は河野外務大臣

えくてびあんでもそのご活躍を紹介したトニータナカさん。平成30年度外務大臣表彰　個人受賞されました。今年度表彰された個人は205人、うち国内在住受賞者は34人という中のおひとり。日本のトップメイクアップアーチストとして長年努めて来られましたが、近年の日本の「kawaii」文化や理容美容文化の海外発信に、また世界に通用するメイクアップアーチストの育成などに対して表彰されたものです。トニーさん、大相撲巡業会場にもいらしてましたが、立川にお住まいの世界人なんです！

おじゃましま〜す！ ——［67］ 焼き菓子のお店

Pistache ピスターシュ

陽光まぶしい6月、柴崎町2丁目に焼き菓子のお店がオープンしました。白が基調のかわいらしいお店です。ピスターシュはピスタチオ。緑のきれいなナッツの名前が店名です。パウンドケーキは種類が豊富。ブラウニーはかわいい四角。クッキー各種がきれいに並び、クッキー生地をキャラメルでコーティングしたフロランタンはとっても香ばしい。瓦を意味するチュイールはパリッパリです。ホロホロした食感のスノーボール、そのココアバージョン。小さくてかわいいマドレーヌ。もちろんフィナンシエもあります。それぞれが個包装されていて、籠に欲しいものを選んでいくのはとても楽しい時間。ケースの中にはタルトがあります。杏や洋ナシ、季節のおいしさを焼きこんだお菓子です。忘れてならないのは小さなパン。オープン当時は2種類だったパンも、今は3種類に増えました。丸いプチパンはお食事パンです。食事の合間に食べるテーブルパンとはちょっと違う。重さのあるしっかりした生地で、間に野菜をはさんでいただくと最高です。オレンジチョコパンは生地にバターを練りこんだお菓子パン。お菓子もパンも、1つひとつとても丁寧に作られています。秋のひと時、ゆっくり味わってみてはいかがでしょう。

〒190-0023
立川市柴崎町2-7-7
ヴエナビスタ柴崎1F-B
TEL 042-526-7466

営業時間
10：00〜18：00

定休日
水曜日、他に月に2日不定休あり

ギフト用に箱詰めもしてくれます。

表紙の人

田中啓介理事長、田中美恵子校長
田中亮一氏、夕佳さん、亮太郎くん

創立51年を迎える田中教育グループ。立川には国際製菓専門学校と西東京調理師専門学校があります。福島県ご出身の啓介理事長、国の政策で農業研修にアメリカへ渡り3年。日本へ帰ったら学校を創ろうと強い意志を持って帰国されたのですが、簡単には事は進まずご苦労されたそうです。それでも1967年小平に調理師専門学校を、立川には1974年に調理師養成教室、1984年に喫茶の専門学校を設立しました。その後、一度は小平の調理師学校に全部吸収されましたが、2004年に新校舎を立川に。「立川への思いは強かった」と理事長も、美恵子校長もおっしゃっていました。2011年には西東京調理師専門学校も立川に新校舎を建設移転。人間性を大切にしながら確かな技術を持つ職人を育てていこうと「食」を主軸に、理事長のお子さんたちによって多方面に発展してこられました。撮影は小平の国際パティシエ調理師専門学校で。こちらの敷地内には畑があったり小動物を飼育していたり。理事長は農業指導がご専門なんだなと納得。今年暮れにはお孫さんがもう一人増えるそうで、お幸せなご一家でした。

かたこと

◆今年は災害が多い、そうお感じになる方も多いでしょう。総務省消防庁のHPを見ると1月の大雪被害から、日本列島各地で自然災害に見舞われていることがわかります。記憶に新しいところでは、6月の大阪府北部を震源とする地震、7月豪雨、8月・9月の台風被害、さらには北海道胆振地方東部を震源とする地震。前の被害鎮静化・復旧が進まないうちに次の災害へと。犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げます◆立川では各お祭りとも晴天に恵まれました。羽衣町のねぶたも今年は雨除けのビニールなしで楽しめました。多くの来街者を迎えて、熱中症の搬送は多かったそうですが、大きな事故も事件もなく、本当によかったですね。警備にあたった方々は、昼間の暑さに真っ赤になっていらっしゃいましたが、いつも陰に日向にありがたいです◆8月22日、立川駅近くの市街地に鹿が現れました。青梅の里山には多くいるそうですが、立川の街なかで見るとは。天候が異常だと、普段起きないことが起きるものです◆えくてびあんはどんな時も、いつも立川の街とともに笑顔でがんばります！

えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ©

10月号　第36巻　通巻407号

平成30年10月1日発行
発行　有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082　FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL http://ecoutez.exblog.jp
発行人　黒須 環
企画・写真・編集　えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男（WATER DESIGN ASSOCIATES）
印刷　三浦印刷株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。

今年は快適！ 大相撲観戦

8月22日（水）、アリーナ立川立飛で大相撲夏巡業立川立飛場所が開催されました。一昨年の巡業は多摩の土を使った本格的な野外土俵で行われた立川立飛場所でしたが、今回は冷房の効いた屋内の会場に、国技館と同じ荒木田の土を使った土俵が設えられました。120社の協賛、観客動員は4000人を超える大型イベントで、猛暑、酷暑と言われる天候だったにもかかわらず、力士を始めとする相撲関係者も観客も快適に楽しむことができました。力士の支度部屋には東レパンパシ予選会で使用のドーム立川立飛が用意され、こちらも快適。Bリーグ規格で造られているアリーナですから使い勝手がよく、女性用お手洗いの数が多くきれいだったのも好評でした。立飛HDが本場所で懸賞金を出している高安関が、立川立飛場所の前日21日から腰痛で巡業を休場していたのは残念でしたが、三横綱、二大関の登場に館内は大歓声、大いに沸いていました。

オリンピックイヤーの2020年夏にも巡業が予定されているそうです。その頃にはみどり地区も「GREEN SPRINGS」としてオープンし、立川にまた違った空気が流れているのかもしれませんね。楽しみです。